

とかくロータリークラブはどんな団体か正しく理解する人は少なく、地域社会への奉仕事業もニーズに的確に答えていないことがあります。社会を動かす力になろう、社会に後世に残る持続性のある変化をもたらそう、というのがRI会長方針であります。

われわれロータリアンは、各自の立場で、時に「インスピレーション」なり、時に「世界に奉仕する行動人」になりましょう。

— 地区目標 —

1 ロータリー賞を目指そう

ロータリー賞（従来のRI会長賞）を申請するためには、先ずクラブ会員の1/2以上が「マイロータリー」に登録し、同時に、クラブは「ロータリークラブセントラル」に登録して、各項目の進捗状況・結果を入力することが条件です。地区では、RIウェブサイト「マイロータリー」「ロータリークラブセントラル」登録の推進と活用を進めて参りましたが、引き続きこれを推進するために必要な支援をいたします。

2 クラブを活性化しよう<魅力あるクラブを創るために>

- ・まずは、クラブを自己点検し、長所短所を把握しよう。
- ・委員会活動を活性化し、クラブの情報は皆で共有しよう。
- ・他クラブ訪問をし、自クラブを元気にするために参考にしよう。
- ・会員増強・退会防止の方策を考えよう。特に、若手会員・女性会員加入促進と養成に努めよう。
- ・地区もクラブも、ロータリー歴の浅い人がロータリーを学ぶ機会を増やそう。

3 ロータリー活動は自己形成である

- ・ロータリアンは高潔で善意に基づく奉仕のできる人である。
- ・「四つのテスト」で常に自己点検をしよう。
- ・入会即ロータリアンではない。ロータリーの精神の学習と奉仕の実践を通じて醸成される人間性を獲得したとき、真の「ロータリアン」と言えるのでしょ

4 地区・クラブのビジョン（戦略計画）を持つ

2020年は、日本ロータリー100周年、2840地区20周年を迎えます。そのための目標として地区戦略計画<ビジョン2020>が承認され、当年は2年目であります。全クラブがクラブのビジョン（戦略計画）を持ちましょう。

[ビジョンのない行動は浪費であり、行動のないビジョンは単なる夢である。ビジョンのある行動は世界に希望をもたらす]（1996-97年度RI会長 Lui Vincente Giay）